



白砂青松の瀬戸内海国立公園・津田の松原が美しい、海の恵みにあふれた「津田町」。

四国最大の前方後円墳である富田茶白山古墳やみろく自然公園がある、魅力的な田園地帯「大川町」。

志度寺の門前町、また港町として栄えた、平賀源内のふるさと「志度町」。

門入の郷など、美しい自然が残された、のどかな田園地帯「寒川町」。

長尾寺の門前町として栄え、四国巡礼結願の大窪寺へ至る遍路道の「長尾町」。

香川県東部のこの5つの町が2002年4月1日、心ひとつに市制をスタート、県下6番目の市である「さぬき市」が誕生しました。

さぬき市プロフィール

- 面積 ● 158.63平方キロメートル
- 東西 ● 12.3キロメートル 南北22.5キロメートル
- 人口 ● 50,420人
- 世帯数 ● 20,897世帯

(2016年10月1日現在 住民基本台帳)



さぬき市の沿革

- 1955(昭和30) 1月 1日 志度町・鴨庄村・小田村、合体。志度町設置。
- 4月 1日 長尾町・多和村、合体。長尾町設置。
- 4月15日 富田村・松尾村、合体。大川村設置。
- 7月 1日 神前村・石田村、合体。寒川村設置。
- 1956(昭和31) 9月 8日 津田町・鶴羽村、合体。津田町設置。
- 9月16日 長尾町・造田村、合体。長尾町設置。
- 9月30日 鴨部村・志度町へ編入。
- 1959(昭和34) 11月 1日 木田郡三木町大字井戸の一部(昭和地区)を長尾町へ編入。
- 1961(昭和36) 9月 1日 大川村・寒川村、町制施行。
- 2002(平成14) 4月 1日 津田町・大川町・志度町・寒川町・長尾町、合体・市制施行。さぬき市設置。